

令和2年度決算の概要

1. 業務状況について

伊勢崎市民病院は、良質な医療を継続して提供できる体制を構築するために平成29年度から令和2年度までを対象期間とする「新伊勢崎市民病院経営改革プラン」を策定し、経営改革に取り組んできました。

施設の整備については、災害拠点病院として断水時に備え、井水の浄水設備を増設するなど機能の維持・向上を行いました。医療機器等の整備としては、令和元年度から2ヶ年事業で病院総合情報システムの更新を行い、その他、老朽化した医療機器の更新を図り、患者の安全性の確保や負担軽減に努めました。

これからも、地域医療機関との連携を図り、紹介患者の受入体制の拡充等を積極的に進め、地域医療支援病院として紹介患者の確保に努めるとともに、市民が求める医療を適正に実現し、市民の健康と安心に寄与するため、良質な医療を継続して提供してまいります。

2. 財政状況について

医業収支については、入院、外来ともに患者数が減少し、収益が減少した一方で、費用は増加し医業収支比率は92.5%になりました。しかしながら補助金の交付による医業外収益の増加から、純利益は239,716千円となりました。今後とも、事業費用の経費縮減等、一層の経営健全化に取り組んでまいります。

令和2年度財務執行状況（損益計算書より）

収益		(単位：千円)		
科目	令和元年度	令和2年度	増減	
病院事業収益 (a)	15,322,471	16,128,342	805,871	
医業収益	14,846,739	13,664,534	▲ 1,182,205	
入院収益	9,964,387	9,061,395	▲ 902,992	
外来収益	4,376,999	4,198,217	▲ 178,782	
その他医業収益	505,353	404,922	▲ 100,431	
医業外収益	475,732	2,209,183	1,733,451	
特別利益	0	254,625	254,625	
費用				
科目	令和元年度	令和2年度	増減	
病院事業費用 (b)	15,720,770	15,888,626	167,856	
医業費用	14,905,874	14,767,604	▲ 138,270	
給与費	7,699,849	7,699,084	▲ 765	
材料費	4,467,242	4,276,207	▲ 191,035	
経費	1,854,555	1,910,632	56,077	
減価償却費	831,692	782,025	▲ 49,667	
その他(研究研修費等)	52,536	99,656	47,120	
医業外費用	814,896	866,397	51,501	
特別損失	0	254,625	254,625	
純損益 (a-b)	▲ 398,299	239,716	638,015	

(単位：百万円)

